



講演会開催

群馬県運動具商(協)

群馬県運動具商協同組合（石坂元理事長、組合員24人）では、9月17日、関東甲信越ブロック協議会会議を主催し、スポーツメーカーや他県より70名が参加した。

当会議では、講師に、草津町出身の元オリンピック選手荻原健司氏を招き、「人を育てるオリンピック選手育成の現場から」をテーマに講演会を開催した。荻原氏は、スキーとの出会いからオリンピックのメダリストになったことで得た経験や、立場を変え指導

者としての選手との関わり方、育成方法等について語った。中でも、「選手を認め、信じて、きちんと言葉で伝えること」の重要性を強調するとともに、草津町や両親への感謝を述べ、これからもスポーツに携り、人々の健康づくりを支えていきたいと意気込みを語った。

また、2020年東京五輪・パラリンピックに向けた選手強化や、国民の健康増進などを実現するため、国のスポーツ施策にも関わっていききたいと夢を語った。



講演する荻原氏

舗装をリニューアル

前橋中央通り商店街(振)

前橋中央通り商店街振興組合（大橋慶人理事長、組合員49人）では、本年5月から始まった商店

街の舗道の舗装工事が9月末に竣工した。従来の舗装は40年以上が経過し老朽化。さらに、舗道の下に埋設している水道管の老朽化問題が以前より懸念されており、今回、前橋市と前橋市水道局と連携し工事が進められた。



リニューアルして安全性が高まった舗道

事業費は約5870万円。国の平成25年度補正「商店街まちづくり事業補助金」を活用した。従来の路面は光沢があり見た目は綺麗であったが、雨が降ると滑りやすく、車のスリップや自転車の転倒事故が時々起きていた。そのため、リニューアルした舗装は、浸透性が高く、滑りづらい素材を選定。

また、色彩デザイナー等のアドバイスを受け、以前のデザインの特徴を踏襲しながら、配色・色調

を決めた。お客様からは広くなったように感じると評判も良い。安心・安全の商業空間の実現に向けた大きな一歩となった。

活路開拓事業第1回委員会開催

群馬石積(協)

群馬石積協同組合（横田文五郎理事長、組合員6人）では、10月15日、組合事務所において中小企業組合等活路開拓事業の第1回委員会を開催した。同事業は、全国中央会が公募するもので、中小企業が連携して改善・解決を目指すプロジェクトを支援するもの。同組合は、新分野進出に向けた「石丸積工法」の強度調査事業を申請し、補助金交付決定を受けた。

委員会は、本会職員を含め、組合員、中小企業診断士で構成し、年度内に数回開催する計画である。第1回委員会では、今後、石丸積み構築物の強度解析を行うにあたり、外注先の選定・委託内容等について協議を行った。なお、同事業は、調査結果を踏まえたビジョンを作成し、組合員間で共有を図ることとなっている。